

【議事録】第2回 乙川リバーフロント懇談会

日 時：平成 25 年 10 月 22 日（火）14 時 00 分～16 時 15 分
会 場：市役所福祉会館 6 階 大ホール

概要

第3回・第4回リバーフロント部会で行われたまちづくりの検討に対して、アドバイザーから助言をいただき、乙川リバーフロント整備計画を実効性のあるものへ高めていくため、第2回乙川リバーフロント懇談会を行った。

議事内容

議事内容

1 開会

事務局より開会宣言。

2 あいさつ

座長より下記のとおり、あいさつを行った。

- ・今年も災害が多く、防災・減災の観点も加味してリバーフロント部会を進めていく必要があると感じている。
- ・アドバイザーの皆様にも貴重なアドバイスをいただけることを期待している。

3 議 事

(1) 現状分析の総括及び課題の整理

- ・事務局説明者より、「現状分析の総括及び課題の整理」について説明を行った。
- ・部会員より「街歩きが楽しい街、岡崎」についての説明を行った。
- ・事務局長より「カヌー練習場としての乙川の活用について」の説明を行った。

以下は意見

座長

- ・景観の面から電線、電柱、看板、陸橋が問題だと思っている。
- ・陸橋が車社会の負の遺産だと個人的に思っている。
- ・部会員の提案にあった回遊性について考えると国道1号をどうやって楽しく渡らせるかということも議論の対象としたい。陸橋撤去は不可能か？

傍聴者

- ・陸橋は安全、安心のためには必要と考える。
- ・今の時代を反映して、歩いて楽しい、人に優しいところを重視していくことは必要。階段等は精神的なバリアとなってしまうため、必要ではあるが、施設の老朽化なども含めて議論していただくとよいのではと考える。
- ・景観的には無い方がよいのだが、景観は安全・安心の上に成り立つものなので、バランスをとることが重要と考える。

アドバイザー

- ・東京都では、歩道橋全廃の方針を出して10年間取組み、現在半減の状態である。
- ・最大の協力者は警視庁。
- ・最大の問題は地域住民がそれを望むかどうか、ということ。地域住民が望む場合は、行政も協力する。
- ・一方、小学校の前など、地域が残してほしいと望む場合もあるので、いきなり全廃、ということにはなっていない。

座長

- ・全国的には、陸橋だけでなく信号までもなくして、その結果事故が減少している例がある。
- ・人に優しいという観点から、陸橋を含め、景観に関する点を重視して進めていけたらと考える。

アドバイザー

- ・来年からカヌーの話や貸しボートの話は進めていくことになるが、今挙げているメニューからどのように絵を描いていくかが当面の話と考えている。それについてアドバイスをいただければありがたい。
- ・座長の景観の話は大切であるが、長期の話であると考えている。

事務局

- ・現状を説明すると、乙川観光船は過去7回行っている。
- ・来年は貸しボートも追加して実施したいと考えている。
- ・去年は洪水時に船の引き上げを実施したが、かなり苦勞した。数が多い貸しボートなどを実施しようと思うと、洪水時の船を引き上げる用にスロープなども整備してもらおうと助かるが、ご意見いただきたい。

アドバイザー

- ・スロープは洪水に支障が無い形で整備すれば問題ない。
- ・ボートを上げた後どこに置くかということも念頭に検討することが必要である。

部会員

- ・貸しボートという旧来のものよりも新しい水上の乗り物等で、何かをものづくり岡崎に携わる方々の協力を受けてやると、リバーフロントが注目されるのではないかと。

部会員

- ・船はできれば、風やにおい、落ちる花びらなどが感じられるようなものがよい。
- ・乗った際に感じたが、船内が窮屈であったので、余裕のあるスペースのものだとよりよい。

部会員

- ・大工は実際に木造の技術をもっていて、船を作っている人もいる。ただ表に出てきていない。
- ・川に親しんでいる人は実際にはたくさんいる。そういう人たちを発掘するようにはいかがか。

部会員

- ・ジョギングコースについて、岡崎城の周辺についてはジョギングのメッカとなっていないので、そのような場所になってほしいと考えている。
- ・最近女性のジョギングする人も多いが、女性は夜のジョギングに防犯上の不安がある。コース整備と併せて照明なども考えるとよいと思う。

- ・舗装等の設備的な条件としては、「走り易さ」ということがあげられる。

部会員

- ・噴水について。噴水がでているときは、お客さんの反応もよく、感動している。
- ・ホテルの販売促進にもなるので、噴水が出ていた方がありがたい。
- ・ニューグランドホテルの前は駐車場があるが、河川敷であり、愛知県から占用許可をいただいている。今後、オープンカフェを実施したい場合、どのような手続きをとればよいか。

アドバイザー

- ・オープンカフェの占用を行いたい場合、まずは「協議会」をつくって、その中で煮詰めていただきたい。
- ・占用の許可先は、オープンカフェの経営者ではなく、岡崎市もしくは協議会に出すことになる。

アドバイザー

- ・協議会をつくるということは、地域の合意を得るということが必要になっている。
- ・協議会と市役所、市役所と河川管理者、それぞれの間で手続きを進めることになる。
- ・全国的には、川は公共用地であり皆の財産であるため、オープンカフェ等で占用した場合それによる利益は地域社会に還元するという例が多い。

座長

- ・防災の観点から傍聴者にも感想をお願いしたい。

傍聴者

- ・国道1号は地下化してしまえ、という話は昔からあった。
- ・現在、乙川リバーフロント周辺に住んでいる人たちがどのように考えているか、ということも取り入れてもらいたい。
- ・地域の人たちの考えを変えていくようなことも必要だろう。具体的なものを出していってもらえるとよいと思う。

部会員

- ・今週末10/26土・27日に「森、道、市場」というイベントを予定しているが、台風の関係で、中止も視野に入れた準備をしている。
- ・これまでの提案にない話として、デザイン（景観）の話を入れてほしいと考えている。
- ・市外の人に岡崎市を選んでもらう場合、1枚の写真で表現できることが非常に重要。岡崎を選んでいただくために写真でいかに訴求力があるかということが、今後の観光産業を考える場合に重要。
- ・和船という話があるが、デザインを和一本でいくべきなのか、そうでないものを目指すのかという話があると思う。最近の景観シンポジウムでも「古いものか新しいものかという二者択一になりがちだが、そうではない。両方を活かすものがある」という話があった（愛知芸術大学水津先生によるデザイン・フィフティ・フィフティ）ので、新しいものと古いものが共存するようなデザインというのを、リバーフロント計画を進める上で取りこんでいけたらよいと思う。

座長

- ・デザインは形をただ表現するということではなく、歴史やいろんな情報を取り込んで表現する、仕組みをつくっていくということも含んでいる。それらの観点もこのリバーフロント部会で発揮できるとよいと考える。

部会員

- ・いろいろな案はあるが、爆発力に欠ける。
- ・できた後のことを考えた場合、観光アプリなど IT、ソフト、ゲームづくりなども行っていくと、遠くからでも来てくれるのではないかと。

部会員

- ・市外から人をつれてくることについて、「テーマとインパクト」が重要。尖ったもの、鋭いものが求められている。
- ・先週台湾の旅行博に行った際に岡崎のセールスをしてきた。その際「テーマがほしい」ということを言われた。「家康公生誕地」ということは分かるが、外国人が岡崎の歴史を感じるため散策する際どこを回っていただくかということを考えることが必要。
- ・市民が喜ぶところもよいが、旅行会社目線としては休憩どころが必要。休憩どころを時代考証を踏まえて整備すると、「岡崎には新江戸時代があり、おもてなしもある、家康の理念や美しい川もある」といったアピールが容易にできる。
- ・乙川は「五万石でも岡崎様はお城下まで船が着く」と歌われており、素晴らしい場所。東岡崎駅、乙川、岡崎公園など点をについてつながりができると旅行会社の商品としても際立ちが出てくる。

部会員

- ・岡崎市の観光アプリの試用版が公開されているのでご利用いただきたい。
- ・最終的には商業と結びつくような仕組みをつくり、商店街と連携を取りたいと考えているため、提案があればいただきたい。
- ・先日行われたストーンフェアではガンダムの手が実物大で出品されていた。石についても可能性があると考えます。

アドバイザー

- ・先ほど「インパクトが必要」といったことが話題にあがったが、東岡崎駅から岡崎城に行くラインのうち目玉の一つとしたいのが「ツインブリッジ」。
- ・市長がとりあえずこのようなものでどうかといった提案をさせていただいているが、どのようなものでもよいので、ご意見いただきたい。

部会員

- ・ツインブリッジ構想には賛成。
- ・もし提案にあった通り、公園にできれば、可能性がある。
- ・幅や形などについてはよくわからないが、何が行われるかというイベントに興味がある
- ・四天王像もかっこいいので、みんなが写真をとって広めたくなる、というようになればよい。

部会員

- ・私もツインブリッジに大賛成。
- ・休憩ができるようになればよい。
- ・本日の資料の中で木橋を書いていたが、この場所は岡崎の歴史からいうと、殿橋が最初に架けられた場所。そういう観点でも実現すればおもしろい。
- ・長い将来をみすえ、洪水の安全性を高め、照明もあり、女性が安心して夜も歩けるようになるとよりよいと思う。

アドバイザー

- ・感想としては、岡崎らしさがあるとよいと思う。駅前の雰囲気も岡崎の特徴がでるとよい。やりすぎて、川をいじめないようにしていただければありがたい。
- ・経験から言えば、洪水時に撤去できずに、強くご指摘をいただいたことがあるため、そのようなことに気をつけていただければと思う。
- ・ツインブリッジについては、「ここに行けばイベントをいつもおこなっている」、というところになればよいと思う。

座長

- ・ツインブリッジについていえば、車と人の共生はありえないと考える。
- ・車が走る横でゆっくりコーヒーを飲みたいという気分にならないのではないかと。人と車はきっちり分けたほうがよいと思う。

アドバイザー

- ・市長の案にこだわらずいろんな意見をいただければありがたい。

アドバイザー

- ・橋梁技術者としての意見であるが、殿橋も明代橋も老朽化が進んでおり、このまま拡張してオープンカフェをしようとする必要とすると相当補強等する必要がある。
- ・切り離して公園橋を単独でつくるとすれば、相当安く、早くできる。そういう選択肢も加えて幅広に議論する必要もあるのではないかと。
- ・船について、福岡県柳川市の柳川の場合は、協議会が存在しないときに運航していた。船会社が河川管理者にそれぞれ許可申請をだして、全部の会社に許可を出さなければならぬような状況になった。
- ・北九州市の紫川の場合は協議会にて全てやっているのだから、比較的うまくいっている事例。岡崎市も協議会をつくって、そのなかでやっていただければよいと考える。

アドバイザー

- ・殿橋は昭和2年に架設された橋。土木遺産にもなっている。壊れそうな雰囲気だが、耐震補強等を行い長寿命化を図っていくため、すぐ壊れるわけではない。心配のないようお願いいたします。
- ・張出し等はもとの橋梁に大きな応力がかかってしまうため、非常に難しい。
- ・新しく橋梁を架けるかということ、河川の構造令は非常に厳しい。ここでひとつひとつ挙げることはしないが、(架け替えた際)もとの橋の形そのまま架かるような感じではない。今は構造令を違反した状態であるが、架け替える際は現構造令に合った橋にする必要がある。要するに洪水に対して安全になる橋を架けなければならない。非常に大きな予算も必要になることや交通の問題等様々なことが出るが、そういったことをすべてクリアしていくといった大きな決意がないと架け替えは非常に難しいというのが私の感想。
- ・現在の殿橋は道路橋。先ほど公園橋といった話が事例紹介ででてたが、公園と同様の占用は難しい(北九州市勝山橋のオープンカフェ)。難しい難しいでは進んでいかないので、具体的な提案があればその中で検討をさせていただきたい。

部会員

- ・岡崎公園に関して、「サインに統一性がない」等のご指摘をいただいているが、具体的な提案をいただければ短期的にできるものについては、今年度は難しいが、来年度からでも対応したいと考えている。橋梁のように中長期的なものはじっくり議論をしていきたい。

部会員

- ・ツインブリッジについて、殿橋の車道や歩道の拡幅という計画はあるのでしょうか。

アドバイザー

- ・愛知県としては拡幅の計画は持っていない。

アドバイザー

- ・岡崎市としては、殿橋は昭和初期に架けられた古い橋であるため老朽化もあり河川管理上も阻害しているため、できるだけ早く架け替えて欲しいという要望を出しているのが現状。その際は車線を増やしてほしいということをお願いしている最中である。

部会員

- ・もし車のために殿橋を拡幅する場合は、人は落ち着けないと思うので、人道橋を新たにつくる形で人と車を分けた方がよいと思う。

アドバイザー

- ・橋には河川の様々な制約が関わってくる。我々は知恵をしぼって検討している段階。
- ・構造については専門家により検討しているため、検討の材料とするため要望や想いという形でご意見をいただければと思う。

部会員

- ・ツインブリッジ構想はよいと思っていたが、現実には様々な課題があるという認識を改めてした。先ほど意見にもあった、人と車を分けることは賛成である。
- ・殿橋・明代橋は現在のままで十分美しいと感じる。
- ・事務局の資料で殿橋と明代橋の間に提案されている新設橋を人が滞留できる人道橋として、「ツインブリッジや乙川の美しさを見るための橋」という位置付けにしてもよいのではないかな。
- ・トリエンナーレの関係で、東岡崎駅からの来訪者を康生にお連れするツアーを行っており、その際にどのルートを通ったらよいか迷った。中央緑道につながるように人道橋を架けていただけると、「東岡崎駅からの来訪者を康生につなげる」という意味でも重要になると思う。

アドバイザー

- ・新設橋の意味は、殿橋を架け替える際の仮橋としても想定している。
- ・今は架け替えの場合の仮橋をそのまま使うというイメージだが、天野副部会長の意見を踏まえると、位置付けは全く変わってくる。

(2) 基本方針（案）の骨格

事務局より資料（乙川リバーフロント地区整備 課題の整理（岡崎活性化本部版））について下記のとおり説明を行った。

- ・リバーフロント部会として2月までに市役所に対して「提言書」を提出しなければならない。
- ・この資料は、今までの部会での議論や前回の部会で提出していただいたアンケートをもとに取りまとめ「提言書の目次」のような位置付の資料である。
- ・この内容で問題なければ、残りの部会や懇談会の内容について肉付けし様々なアイデアを盛り込みながら「提言書」として取りまとめていきたい。
- ・この資料には記載していないが、課題と方向性の9番目として「減災への配慮」を追加する。

事務局

- ・このような形でまとめていく方向性で考えていきたい。

部会員

- ・まとめるとこういう形になると思うが、総括的であるため、際立たせたい部分を明確にしていきたい。
- ・時間がかかるかもしれないが、これが一番大事だということを明確にしていきたい。

事務局

- ・それについては今後も検討していきたい。

4 閉 会

事務局より閉会のあいさつを行った。。

以上